

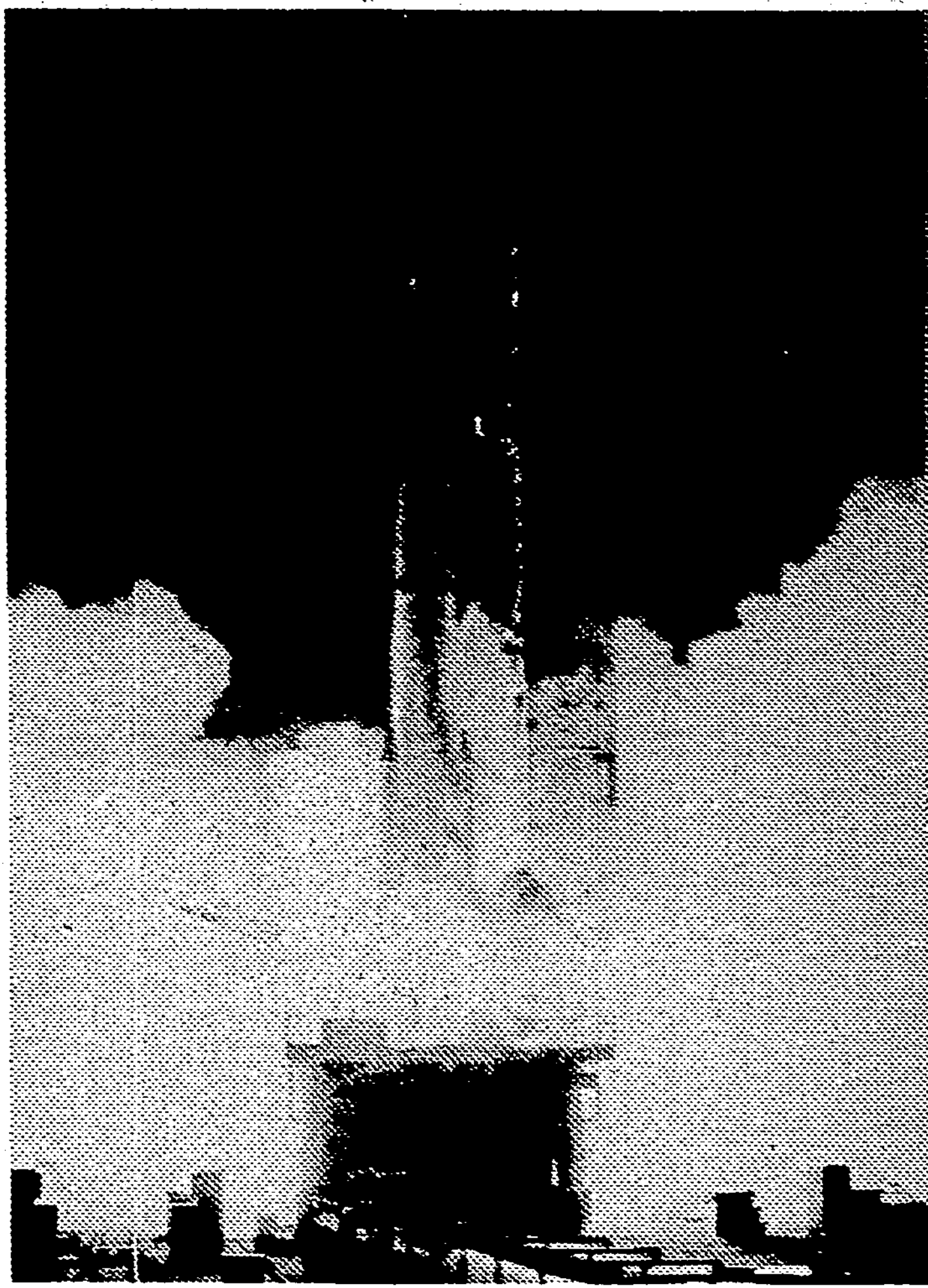
# 大樹に宇宙基地を

## 道、北東公庫が誘致構想

### 苫東と並び候補に 地域開発に大きな可能性

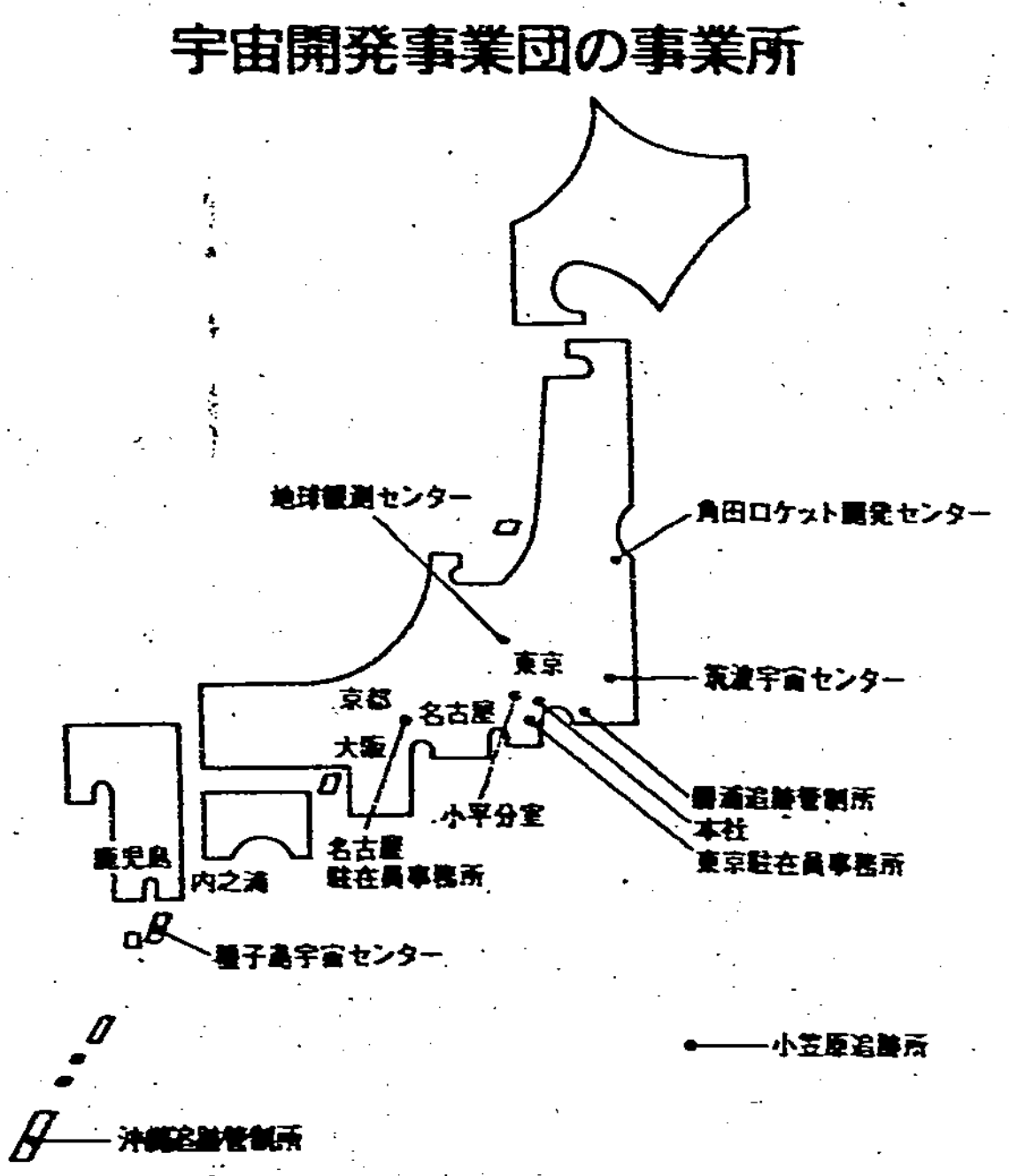
【東京・小野寺裕記者】大樹町に航空宇宙産業基地を―と云うと唐突のようだが、場所については白紙とはいえず、宇宙基地の北海道誘致は北海道北東公庫や道で真剣に論議され始めている。その有力候補地とみられるのが苫小牧東部工業基地と大樹町だ。宇宙となると、あまりにスケールが大きく、一体この先どうなるのか暗中模索の部分が多いため、こうした構想自体、夢物語のように聞かせる。しかし、すでに日常生活的の中に衛星は、お天気情報などで、どなたも入り込んで来ており、昭和六十三年ごろからは、日本も衛星時代に突入すると言われているため、長期的視野で地域開発を考えた場合、大きな可能性を秘めている。十勝管内市町村が一体となって大樹町をバックアップしていく体制づくりが期待される。

北東公庫が昨年三月まで「する」として、た北極道北二十一世紀報告 施設は①研究開発機関(航空宇宙開発研究センター)、大民間活力が奏せ21世紀の地学)②アセンブリー(寄せ集め)工場(ロケット航空機)③航空宇宙産業基地(構想が組み立て工場④実験施設(ロケット打ち上げ実験滑走路)安全上太平洋沿岸である⑤最新の情報、データを提供できる母都市が必要―と強調している。



鹿児島県種子島宇宙センターの人工衛星打ち上げ

「など。プロジェクトの適地条件と打ちは地球の自転を利用して東の方に発射するため、安全上太平洋沿岸である⑤最新の情報、データを提供できる母都市が必要―と強調している。



度成長時代が終了した今日、苫東の工場立地は不発、大樹の工業団地は立ち上がりつつある。その苫東、大樹が再び宇宙基地の誘致で、競争を繰り出す。しかも産業補償上、打ち上げは年一回に限られていて、その点、広々とした北海道は宇宙基地には最良、ハイテク企業立地の可能性にもつなげるので、ぜひ地域の熱意で国や学者など中央の人の目を盛り上げたい。一方、大樹町は野口武蔵町長が積極的だが、またこの構想自体、十勝では知られていない。

高田善義同公庫理事長は「種子島の宇宙センターでは二ノ以上の打ち上げが可能になるため、当面は種子島が、将来手狭になる可能性が、ある。しかも産業補償上、打ち上げは年一回に限られていて、その点、広々とした北海道は宇宙基地には最良、ハイテク企業立地の可能性にもつなげるので、ぜひ地域の熱意で国や学者など中央の人の目を盛り上げたい。一方、大樹町は野口武蔵町長が積極的だが、またこの構想自体、十勝では知られていない。

一方、科学技術庁自身は、う受け止めている。石井敬昭宇宙企画課長は「六十七年ごろ打ち上げる日二ノロケットになると、打ち上げを組み合わせるが並行して行えるよう

なるため、当面は種子島が、手狭になることは思っていない。しかも、静止衛星の打ち上げは近い将来、南北の赤道上に近づく方が有利。将来的には種子島以外に、今かどうかは分からないが、この段階では種子島以外に、この構想はない」と説明する。

しかし、通信、放送、気象衛星など赤道を回る静止衛星と違って、試験探査で地表を覆う軌道衛星は地球を24時間回るため、南北は無関係。しかも、長期的に宇宙ステーションを行き来する時代になると、日本にも滑走路、飛行場が必要になる―と同庁でも認めている。とにかく、この分野はどのような方向に進むかは未知数なわけだ。

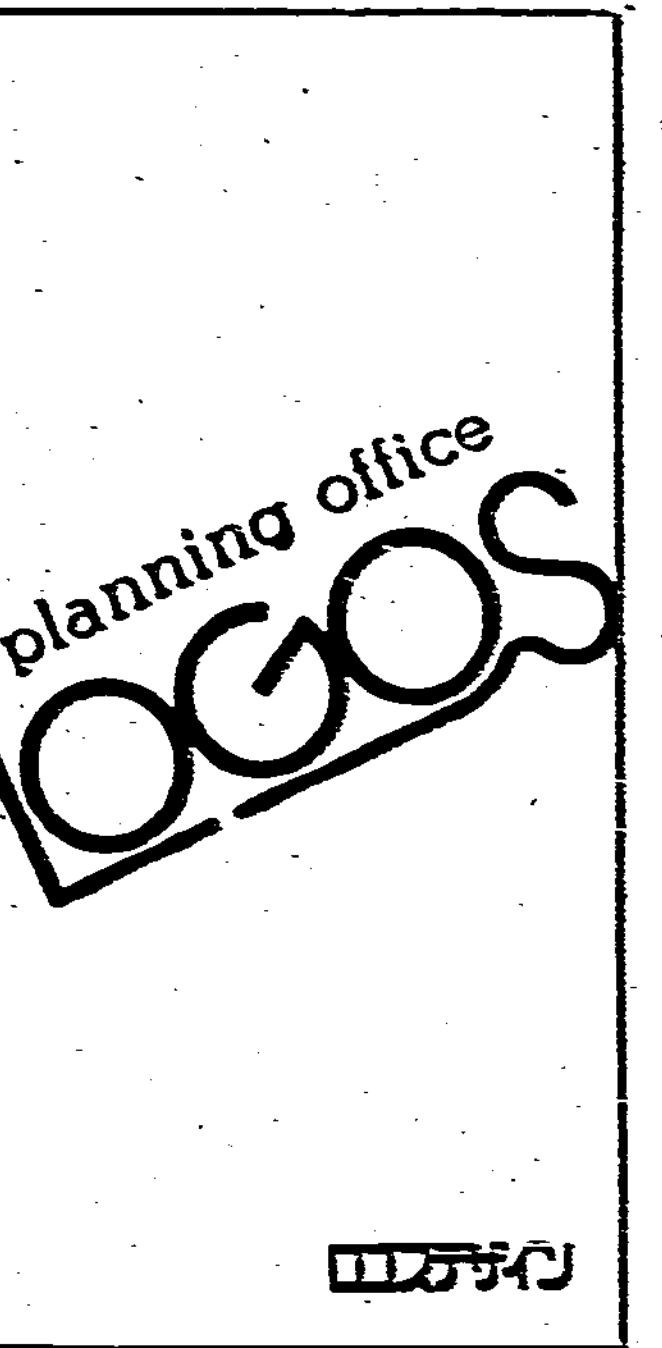
苫東は地耐力に難点があり、リ、フェリーの行き来も激しい。石油備蓄上の安全確保、千歳空港が近いから、高き四十五以上の建物も建てられない。苫東は、大樹は、広々とした平地、地耐力が良く、水も豊富。十勝管内市町村がバックアップされており、交通上も便利。しかも、情報化が進んでいる帯広が母都市の候補を争っている。可能性は十ノ野口武蔵町長は「種子島の宇宙センターは二ノ以上の打ち上げが可能になるため、当面は種子島が、将来手狭になる可能性が、ある。しかも産業補償上、打ち上げは年一回に限られていて、その点、広々とした北海道は宇宙基地には最良、ハイテク企業立地の可能性にもつなげるので、ぜひ地域の熱意で国や学者など中央の人の目を盛り上げたい。一方、大樹町は野口武蔵町長が積極的だが、またこの構想自体、十勝では知られていない。

年度スト)を発表、その中に人工衛星打ち上げる航空宇宙産業基地の誘致を提言、今年度事業は二十一世紀技術開発調査プロジェクトを委託調査し、その一項目で航空宇宙基地の可能性を探っている。来年一月に結果が出る見込みだ。

そこで可能性を持つのが北海道では苫東と大樹、苫東は国の新全線(四十四年―六十年)の中で大型工業団地の張りつけに成功、大樹はその次の候補地だった。しかし、高



発行所  
十勝毎日新聞社  
〒080 帯広市和条南8丁目  
電話-編集②2121、広告  
③2323、総務-販売④2222  
©十勝毎日新聞社 1985



LOGOS